

■ 2019年3月期 第3四半期決算説明会 質疑応答の要約

ユナイテッド株式会社

2019年2月1日(金)開催の証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会において、出席者の皆様からいただいた主なご質問と当社の回答を以下にまとめております。

質問	回答
----	----

アドテクノロジー事業について

- Q1 ウェブ広告領域の売上総利益率低下の要因と、4Q以降どのように収益管理の厳格化をしていくのか教えてほしい。
- ウェブ広告領域の中でも特に「adstir」において、年末の需要期での大きな出稿を見込んで媒体買付けを強化したのが売上総利益率低下の要因。今後の対応については、アプリインストール広告領域にはリソースを投下、ウェブ広告領域は組織体制の変更や媒体仕入れの抑制によりコストをコントロールしていく。
- Q2 広告不正（アドフラウド）の問題についての影響を教えてほしい。
- 当社のアプリインストール広告プロダクトは、アドフラウドを排除する機能を実装しており、広告主や広告代理店から評価をいただいている。広告効果を高めることが本質的な価値だと考えているが、アドフラウドへの対策も重要な施策として取り組んでいく。

ゲーム事業について

- Q3 有力IPタイトルのリリース時期を教えてください。
- (株)トライフォートで2019年春頃のリリースを予定している。
- Q4 「東京コンセプト」の改善の見通しについて具体的に教えてほしい。
- 昨年10月のリリース前後からユーザーとのコミュニケーションを重視しており、一定の熱量のあるファンを獲得できている。想定に届かなかった指標は継続率。今後はユーザーに継続して遊んでいただくことで収益の改善ができると考えているため、ゲーム性を高める開発に注力する。

コンテンツ事業について

Q5 (株)Smarprise、(株)アラン・プロダクツの既存高収益事業縮小の要因を教えてください。

(株)Smarpriseの主力事業である「SMART GAME」の収益はiTunesのアフィリエイトプログラムに依拠していたが、2018年10月の当プログラムの提供終了により減収。現在、代替として「SMART GAME」内で流通する「SGコイン」というサービス開始しているが、加えて他の新規サービスの企画・開発も進めていく。
(株)アラン・プロダクツは、「ヘアラボ」というメディアでGoogleの検索アルゴリズム変更による集客力の低減が続いていることにより収益減少。「ヘアラボ」においてアフィリエイト広告に依存しない収益モデルの検討や、その他の新規事業の準備を行っている。

中期経営計画について

Q6 中期経営計画「ユナイテッド2.0」の2期目である来期の投資領域を教えてください。

特に期待しているのは、アドテクノロジー事業のアプリインストール広告領域やキラメックス(株)運営の「TechAcademy」。社会的なトレンドである子供向けプログラミング教室等への成長投資を行っていきたい。

以上